

日本青年心理学会研究委員会企画 ワークショップ開催のご案内

日本青年心理学会研究委員会では、2018年から2020年までの3年間にわたる長期的テーマを「青年期から成人期への移行の多様性」として、さらなる青年理解に向けた検討を行っていきたいと考えています。

2020年は「青年に希望はあるのか」を短期的テーマとして、以下の日程・場所でワークショップを開催いたします。青年期から成人期への移行過程の多様化が進む中で、かえって価値観の画一化や経済状況の格差が広がり、特に日本の青年が抱く希望のあり方へ影響しているのではないかという問題意識に基づいています。

会員のみならずには、ふるってのご参加をお願いいたします。また非会員の方も歓迎いたしますので、関心のある方がいらっしゃいましたら、ぜひお声がけください。

□ 第4クール（2018年～2020年）の長期的テーマ

「青年期から成人期への移行の多様性」

□ ワークショップ概要

日 程：2020年2月23日（日）13：30～16：30（13：00開場）

場 所：昭和女子大学 7号館6階 6S02教室

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57

<https://office.swu.ac.jp/campusmap/>

※大学正門入口において、守衛が皆様に入構目的を確認させていただいております。

「日本青年心理学会ワークショップへの参加」と伝えていただければ幸いです。

話題提供：都筑 学会員（中央大学）

内 容：「現代青年における希望の心理学」

青年は、彼らが生きている時代の空気を吸いながら成長していく。今の時代、青年が希望を抱くことは難しい状況にある。そうした厳しい現実のなかで、どのようにして青年は希望を見出すことができるのか。話題提供をもとに、「青年と希望」について参加者のみなさんと語り合い、希望の発達の意義を心理学的に深めていきたい。

参加費：無料

その他：ワークショップ終了後に懇親会を予定しております。

□ 申し込み・問い合わせ

ワークショップ・懇親会への参加申し込みについては、人数確認・資料準備等の都合上、可能な限り、事前に下坂までご連絡ください。（当日の参加も可能です）

【申し込み・問い合わせ先】

四国大学 下坂 剛：t-shimosaka@shikoku-u.ac.jp

※件名に「青年心理学会ワークショップ参加申し込み」とお書きください。